

倭女文庫三拾編

外雙曲多回里

嘉永七年
甲寅新彫

~ 13
3785
59

上



3785
卷 59

あまの

の

の

の

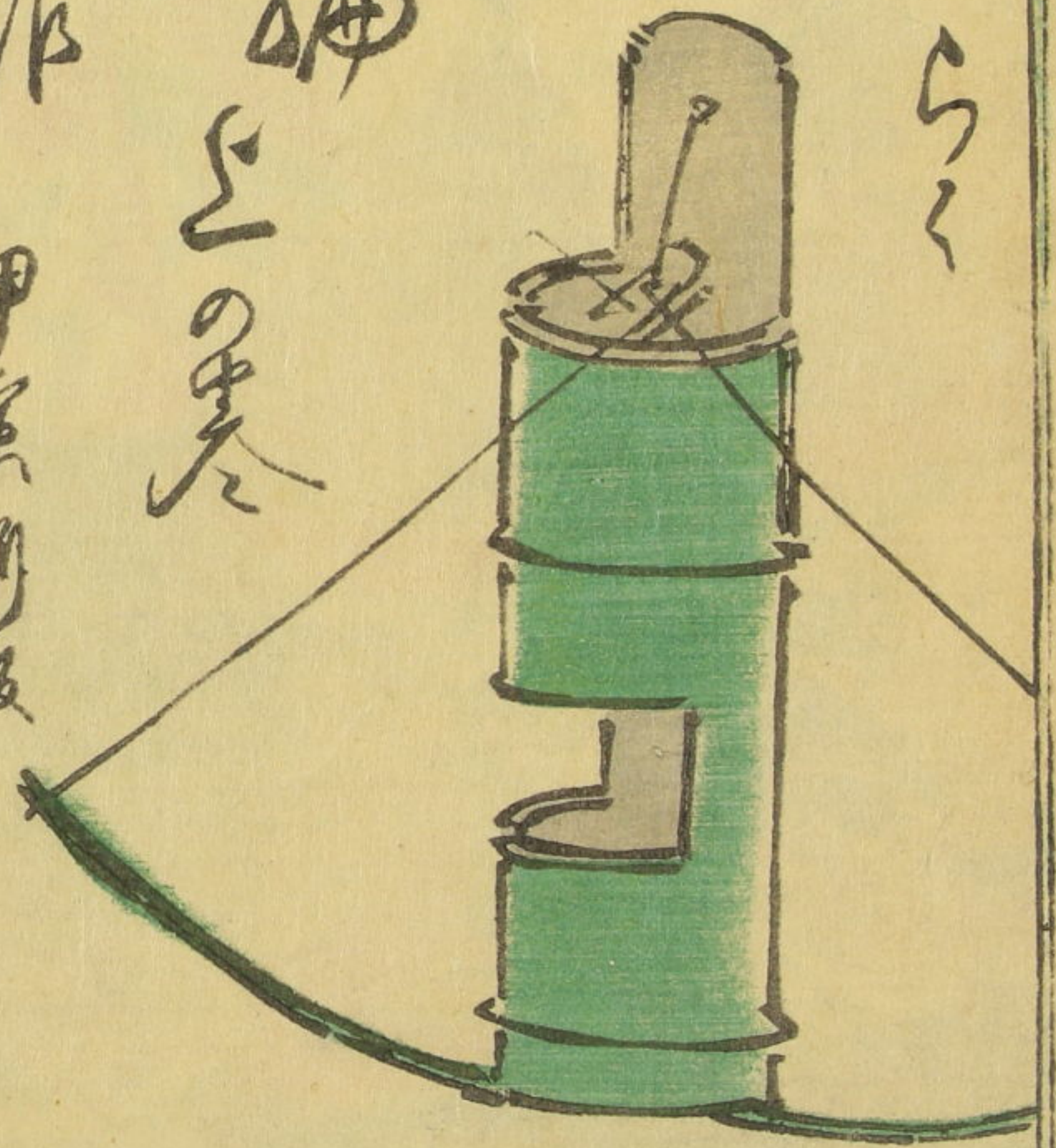
万多の慈加作

甲美新板

お月あはれ

人形可通

上あはれを



らく

釋迦八相倭文庫三拾編序

天世界の万物の大極二元の氣と種とと陰陽の二也陰陽合

と物と生と有と情と非情の二也有情と人畜類鳥類魚虫

生と死の種と來をを生と有情の有情と念多故能變化等の中

人情の厚きを以六道四生の變化と永く苦累と免れざるは是

國王の夫人を度し邪師の飲婆羅と度し太迦葉の値偶

合衛國のよきを録し冊子の讀切とするはと

嘉永八乙卯年

孟陬吉辰發行

万亭應賀誌

巻五十九



あまの親近如来の對
天衆を奏せ
此時舍利弗
節々々々舞

邪法の司阿闍羅翅舎
欽婆羅の父十方山の
緊那羅王
琴を
彈る

釈迦如来



切利天
帝釈の法樂神
緊那羅王
七金山の山峯に

天女

舍利弗



△如來の
正法と威
舍利弗
目蓮
亡さんと企



△邪師阿闍羅翅舍
羅王之長子
法樂神緊那
欽婆羅の嬢摩那

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style (sōsho) and is densely packed.



Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration. The text is written in a cursive style (sōsho) and is densely packed.











かみの上の髪はのうらへはまゝ、やのしん
かきとゆへとむべ、まゝにせうせん
天上のあまのついでにせうせん
せうせんをのまゝにせうせん

かみの上の髪はのうらへはまゝ、やのしん
かきとゆへとむべ、まゝにせうせん
天上のあまのついでにせうせん
せうせんをのまゝにせうせん
かみの上の髪はのうらへはまゝ、やのしん
かきとゆへとむべ、まゝにせうせん
天上のあまのついでにせうせん
せうせんをのまゝにせうせん



かみの上の髪はのうらへはまゝ、やのしん
かきとゆへとむべ、まゝにせうせん
天上のあまのついでにせうせん
せうせんをのまゝにせうせん

かみの上の髪はのうらへはまゝ、やのしん
かきとゆへとむべ、まゝにせうせん
天上のあまのついでにせうせん
せうせんをのまゝにせうせん
かみの上の髪はのうらへはまゝ、やのしん
かきとゆへとむべ、まゝにせうせん
天上のあまのついでにせうせん
せうせんをのまゝにせうせん

あしあし... 如... 花山吹百人女郎... 昔語小栗實説... 重の井菱... 倭文庫... 万亭應賀作... 陽齋豊國画... 水春水... 金水... 種彦... 奉書六枚半續... 初編 二編... 三編 四編... 上州屋重藏



應賀作 國貞画

嘉永八年乙卯春新板目錄

Table listing book titles, authors, and editions. Includes entries like '倭文庫', '重の井菱', '昔語小栗實説', '花山吹百人女郎', '大寶御江戸圖', '常磐津懷中本', and '重繪州紙本類'.

